



現場に精通した社会人から学ぶ、仕事の醍醐味や豊かな人生とは何か
習志野市長及び銚子市長が千葉大学で地方創生について講義

■ 授業の概要

千葉大学では、全学部対象の普遍教育科目として12月6日(火)より「実践的なキャリア教育」として授業「地方創生の実務現場 1」を開始しました。キャリアをテーマとした講義の実施は、大学インターンシップに参加した学生からの提案により実現したものです。

今回、**習志野市長**及び**銚子市長**が講師として登壇し、**地方創生**について実践経験を踏まえた講義を行い、キャリアへの理解を深めます。(一般市民の方も来場可)

■ 日程と内容

講義名：地方創生の実務現場 1

講義室：総合校舎 G 2 (地図参照)

コーディネーター：法政経学部/キャリアセンター 小川真実准教授

1月10日 (火) 14:30-16:00

講 師：宮本泰介<習志野市長>

テーマ：習志野市の行政運営の歴史・現状・未来



千葉県内で有数の狭隘な市域面積に17万人が居住する「習志野市」の行政運営の歴史・現状・未来を現役市長が熱く語ります。

1月17日 (火) 14:30-16:00

講 師：越川信一<銚子市長>

テーマ：確かな食楽仕(くらし)の形—地域資源が循環する銚子創生—



「とっぴずれのマチ」の風土と人が大切に育ててきた「食」「楽(楽しむ)」「仕事」。今の日本が忘れてしまった嘘のない「暮らしの形」が銚子にはあります。



本件に関するお問い合わせ・取材のお申し込み

小川真実 (法政経学部/キャリアセンター・准教授)

電話：043-290-2432 メール：m-ogawa@le.chiba-u.ac.jp